

74新破天荒



文化祭に向けて

一学期中間考査が終了。時を同じくして、総体の西播地区予選、あるいは、県総体が進行している部活動もあると思います。各々の成果、結果はどうでしたか。

勝ちに不思議の勝ちあり

負けに不思議の負けなし

とはよく言ったものです。皆さんはどちらの状況に該当するでしょうか。勝負事というのは、負けようとして臨む人はいません。ただ、勝ちへの「こだわり」には、人によって差が出ます。こだわりの強さからと言って「必勝」はありませんが、勝ちに繋がる「確率」を高めることにはなりません。

自分が求めるレベルは、誰もが求めるレベルとは限りませんが、その目指すレベルが近付けば近付くほど、太く力強いエネルギーとなつてチームの結束に繋がります。さて、チーム七十四回生は如何なものでしょうか？

文化祭という行事、この二学年での学校の中心学年として取り組めるのは、人生で一度だけです。ただ、その準備に与えられる時間は限りなく有限です。新しく縁を持った集団が、この短期間でどれだけ同じ方向に向かつて強いエネルギーを発することが出来るか。是非、楽しみにしたいものです。次号、期末考査のことも含めてどんな報告ができるか、お互いに期待しましょう。



5月ゴールデンウィークに、「私の決意」と称して目標設定シートと課しました。内容は、

大目標（将来達成したい目標）

中中目標（月間達成目標）

中目標（週達成目標）

小目標（日々努力目標）

を掲げさせました。多少、頓珍漢な回答も含まれていましたが、まずは動こう。その意味では、ほぼ全員が回答が得られたことに少し感激。個人票にしてすぐに配布し、家の見えるところに貼っておくよう伝えましたが、ご家庭で見える場所に掲げることを実行していますか？

権利の主張

も皆さんの大切な権利ではあるけれども、高校生くらいでは、その権利が「当たり前」に認められているものと勘違いすることが多い。それがいつしか

思考の煩わしさ

安易な一本道

を、自分の進路の正論にしてしまいます。人生の先達として言えるのは、今が「一番苦しい時間」と感じることは、将来振り返ったときには得てして懐かしい思い出、もしくは、若干の後悔、次の世代への忠告になっているものです。

生徒にはまだ理解できない

保護者には領ける

この事実を、早いうちに伝わることになればと、考えるばかりです。

数字ありきではない

本当の自分を引き出す

ための苦勞を厭われない集団に成長して下さい。

一つ評価できることとしては、過去の実施有無の関係で、他学年比較はできませんが、二学年第一回進路希望調査、ベネッセ進路達成プログラムにおいても、志望校イメージが、通えるところ、知るところの記入が多数を占めることなく、全国津々浦々に自分の力を試すことができる場所の模索をしている生徒が、予想以上に多い結果を得ました。

あわよくば、それが直ぐに

学習活動への取り組み

に繋がればと思ってしまうのですが、欲張らず地道に、皆さんに訴えていきます。

課題が多いと嘆く生徒に

それは日々の課題でしょうか。テスト（一日前からの課題でしょうか。教室、部室等に教科書や資料集を置いて帰っていることが増えた人は、日常の学習生活に主体性を持たせなければ、「不満を語る」この先二年となるでしょう。

課題をやっているのに

と嘆く生徒に

課題提出作業になってはいませんか。「ノルマ」は「進級保障」のための課題の一つです。特に、私の科目（数学）で多く見られますが、「識る」ために写経も勿論必要です。「結果」を出すには、「まず考える」「振り返る」が必要です。

「自分のしたいことはこれでない」と考える人ほど「自分のしたいこと」においても、中途半端になっていませんか。「したい」ことは、「参加する」「そこにいられる」ことではないはずですよ。

競争のない世界

悔しさを感じない世界

に成長はありません。

次のステップへ。「心ある」行動を伴う一ヶ月に。

漲る力
活躍を信じて

部活動顧問から伝達があった、総体関連の大会で表彰対象者の結果を報告します。

空手道部 (西播大会)

優勝 男子団体組手
準優勝 男子団体形
女子団体組手
女子団体形

第三位 女子個人組手 田中 葵(五組)

バレーボール部 (西播大会)

第二位 女子

バスケットボール部 (西播大会)

第二位 (Aリーグ) 女子

弓道部 (西播大会)

第二位 女子 A

陸上競技部 (西播大会)

第二位 男子走高跳 栗栖 潤心(二組)
第一位 女子七種競技 日坂 美咲(二組)
第一位 女子一〇〇H 日坂 美咲(二組)
第三位 女子砲丸投 日坂 美咲(二組)

これ以外にも、数多く県総体出場権を持つ部活動、二年生がいます。次号において、その活躍の様子が数多く報告できることを期待します。

六月の予定

- 一 日(木) 尿再検査②
- 五 日(月) 耳鼻科検診①
- 六 日(火) 教育相談
- 七 日(水) 歯科検診②
- 八 日(木) 耳鼻科検診②
- 十五日(木) 文化祭①
- 十六日(金) 文化祭②
- 二十日(火) 教育相談
- 二十四日(土) 教員採用試験会場(登校禁止)
- 二十八日(水) 進路講演会(六限)
- 二十九日(木)~七月五日(水) 一学期期末考査

なお、本年度文化祭については、保護者の来校が昨年とは異なることになっております。確定次第、生徒を通じて案内文を持たせますので、必ずご覧下さい。

なお、二年生はステージ発表(劇等)二クラス、展示三クラスとなります。昨年のリベンジとして、好天の下で実施されるとよいですね。

現在、教育実習生が来ております。母校での学びを思い出し、その学びの奥底の部分を後輩達に伝えてくれるものと思います。

あつという間に期末考査です。ある意味、悩む暇もないかもしれませんね。

今月の
……の勧め

- 一 年 「無駄」
- 五 月 「諦めない」
- 六 月 「捨てる」
- 七 月 「チャレンジ」
- 一 学期末 「さかのぼる」
- 九 月 「テレビ」
- 十 月 「大空間」
- 十一月 「無」
- 十二月 「こだわり」
- 二 学期末 「信念」
- 一 月 「探る」
- 二 月 「自制する」
- 三 月 「勇気を探す」
- 一 年最終 「悩むこと」
- 二 年 「本気でぶつかること」
- 四 月 「この世界の片隅を大切に」
- 四 月 2 「主体性」
- 五 月
- 六 月

散歩道 74

クラスコード 51luczkw

Start 23 → 2022 last 36

2023 start 38 → Now 52

2ndGrade start 52

Now 55

何も分からぬまま取りあえず進んだ昨年の文化祭。

一年間、姫路南高校生で翠洋会の一員と時間を共有してからの今年の文化祭。どの文化祭も皆さんにはただの一回です。自分達が感じた「姫路南高校」を、今度は学校の主軸として、下級生に伝えていく立場であることをしっかりと理解して、今回の文化祭を乗りこえましょう。

とは言え、僅か二週間。あつという間に時は過ぎます。誰もが、「誰かが」と考えれば何も生まれません。それだけでなく、「人を責める」気持ちだけが残りになります。

一度きり

一人一人が一役を担い、一人一人が「主体性」のうちにはぶつかり合い、高め合い、認め合うことができていることを知ってほしいと思います。

そのことは文化祭にとどまらず、この先の自分の「大切な道」に生きてきます。それを皆さんが識ることになるのは、まだまだ「先」、「後悔とともに」、「未知」のいずれになるでしょうか。

改めて「なりたい自分」を想像してみよう。そのために今の自分に「必要なもの」が何か、それは「手にいたい」ものか、「実行する覚悟」はあるか。

大いに悩むことです。波のないところに成長などあり得ない。

「悩まされる」

のではなく、

「悩む」

ために何が必要か。そのための自分への「主体性」であることを伝えたいと思います。